

記者発表資料
令和8年8月31日

所 属	大垣市 こども未来部 保育課
担 当	課長：小林、西本 主幹：梅村
連絡先	0584-47-7096（直通）
所 属	大垣市教育委員会 学校教育課
担 当	課長：富田 主幹：鈴木 担当：梅村
連絡先	0584-47-8034（直通）

「大垣市就学サポート実践モデル検討会」の設置について

1 趣 旨

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、就学後の学習の基礎となる芽生えを育み、就学後は、その芽生えをさらに伸ばしていくことが必要とされていますが、幼児教育と小学校教育には様々な違いがあり、円滑な接続が容易ではないことから、5歳児から小学1年生の2年間を架け橋期として、幼児教育施設と小学校の連携等が求められています。

文部科学省が行う全国調査においても、いじめの認知件数は小学2年生が最も多く、不登校も小学1年生から学年を追うごとに増加するなど、就学時における子どもたちの躓きは、その後の育ちに大きな影響を与えているものと考えています。

本市においては、平成22年度に「大垣市幼保小連絡協議会代表者会議」を、平成23年度には、「小学校区幼保小連携協議会」を設置し、講演会の開催やモデル校区を指定し連携を図っていますが、更に連携を進め、子どもたちの健やかな成長と学びの連続性の確保を図るため、新たな実証事業に取り組み、大垣らしい幼保小連携モデルの構築を図るものです。

※文部科学省調査「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

2 検討会の概要

(1) 目 的

子どもたちの切れ目ない伸びやかな育ちを確保するため、実証事業の実施及び検証を行い、大垣市の現状を踏まえた実践的なサポートモデルの構築に向けた検討を行うことを目的とします。

(2) 委 員

① 学識経験者

- ・岐阜大学教育学部教授 今村光章 氏

(岐阜県幼児教育推進会議、岐阜県幼児教育アクションプラン検討委員会 会長)

② 学校・園関係者

- ・実証事業実施校（2校）の校長
- ・校長会の幼児教育担当校長、教頭会の幼児教育担当教頭、教務主任会代表
- ・実証事業実施園（2園）の園長及び主任保育士
- ・公立園長会の幼児教育担当園長、主任保育者会担当主任保育士

3 実証事業実施校・園

赤坂小学校・赤坂こども園

荒崎小学校・荒崎こども園

4 キックオフ勉強会

(1) 日 時

令和8年10月20日（火） 14:00～

(2) 場 所

大垣市役所4階 情報会議室

(3) 講 師

岐阜大学教育学部教授 今村 光章 氏

(4) テーマ

幼保小連携の基礎・基本

～幼児教育・保育の独自性と多様性を保ちつつ連携する～

(5) 参加者

40人程度（検討会委員及び学校・園関係者）

5 今後について

実証事業の実施及び検証を踏まえ、大垣市サポートモデルを構築し、順次、対象校・園を拡大します。